

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	東京国立博物館電話案内代行業務	
契約締結日	令和2年4月28日	
契約の相手方の商号又は名称等	NTTタウンページ株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年3月25日 入札公告	
	令和2年4月22日 関係書類提出締切	
	令和2年4月28日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	×	初回入札が不調となり再公告となったため、結果的に準備期間を短縮せざるを得なかった。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	3者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	前回同様、A～Dの全ての等級について参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な期間公告を確保する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	総務課来館者支援者担当人材派遣業務	
契約締結日	令和2年6月19日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社フクシ・エンタープライズ	
入札経緯及び結果	令和2年4月30日 入札公告	
	令和2年5月29日 関係書類提出締切	
	令和2年6月8日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始までに3週間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	7者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	前回同様、A～Dの全ての等級について参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な期間公告を確保する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(京都国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	京都国立博物館着ぐるみ操演に伴うアテンド業務等 一式	
契約締結日	令和2年9月17日	
契約の相手方の商号又は名称等	合同会社尾崎商店	
入札経緯及び結果	令和2年8月20日 入札公告	
	令和2年9月10日 関係書類提出締切	
	令和2年9月17日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務上最低限の厳守事項の記載にとどめている
②業務等準備期間の十分な確保	○	契約日から初回業務日まで16日間確保
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	1	新規参入を期待して資料を取り寄せたが、期日までに書類を整えられなかった
⑦競争参加資格の拡大	○	役務提供の競争参加資格等級をA～Cに加えてDまでとしている
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き十分な期間公告を確保する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事業フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	展示環境モニタリングシステム賃貸借及び保守 一式	
契約締結日	令和2年4月23日	
契約の相手方の商号又は名称等	地球観測株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年3月19日 入札公告	
	令和2年4月7日 関係書類提出締切	
	令和2年4月14日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	機器の耐用年数等を考慮し、賃貸借の期間を6年間とした。 (理由) 当館の仕様に併せての機器の設定等が必要なため、短期間での賃貸借の場合、参加希望者が限定されることが考えられる(コストと契約期間が見合わない)、また月当たりの賃貸借料金が高額になる、安定的な計測ができない等当館にとっても不利な点があるため。 (前回契約は当初3年間契約だったが、その後、安定的な計測のためには機械の入替が不可能と判断され、変更契約により6年8ヶ月(H26.4.1~R2.11.30)の契約となった)
②業務等準備期間の十分な確保	○	十分な準備期間が確保できるよう、R2.4.23契約、R2.12.1~の運用開始とした。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	入札参加業者の他3者に入札説明書等を送付し、応札の可否を調査したが、自社製品が仕様書の内容を満たさない(2者)、他の美術館・博物館での業務が多忙なため、業務量的に対応できない(1者)との回答であった。
⑦競争参加資格の拡大	○	前回まで事前確認型公募であったが、より広く応札者を募るため、一般競争入札を採用した。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
市場調査の結果、今回は業務多忙等の理由により参加がなかったが、当館が求める仕様を満たすことができる業者が入札参加業者の他にもあることが分かったため、今後も事前確認型公募ではなく、一般競争入札に改めることとする。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	7	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	プラネタリウムドームの設営等	
契約締結日	令和2年8月31日	
契約の相手方の商号又は名称等	コニカミノルタプラネタリウム株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年8月4日 入札公告	
	令和2年8月25日 関係書類提出締切	
	令和2年8月31日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで十分期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	入札説明書を4社に交付したが、3社より辞退の申し出があった(仕様を満たす業務を実施できないため。親会社が参加することになったため。)
⑦競争参加資格の拡大	○	A~Dの全ての等級について、参加資格を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き研究所HP及び掲示板において、十分な期間公告を行う。併せて引き続き仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	8	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	奈良文化財研究所 第12回東京講演会運営支援業務	
契約締結日	令和2年7月8日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社クバプロ	
入札経緯及び結果	令和2年6月5日 企画競争に関する公告	
	令和2年6月29日 提案書類提出締切	
	令和2年7月8日 契約締結	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで十分期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	A～Dの全ての等級について、参加資格を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き研究所HP及び掲示板において、十分な期間公告を行う。併せて引き続き仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。